



Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ のアップグレード

この章では、Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ のアップグレードについて説明します。次の項を含みます。

- [アップグレードパス \(1 ページ\)](#)
- [Nexusダッシュボードファブリック コントローラ アップグレードツールのダウンロード \(5 ページ\)](#)
- [アップグレードツールを使用したバックアップ \(6 ページ\)](#)
- [Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ のアップグレード \(10 ページ\)](#)
- [Feature Manager \(12 ページ\)](#)
- [アップグレード後の作業 \(14 ページ\)](#)

アップグレードパス

次の表は、リリース 12.0.1a にアップグレードするために従う必要があるアップグレードのタイプをまとめたものです。

[\[ソフトウェアのダウンロード \(Software Download\)\]](#) に移動して、アップグレードツールスクリプトをダウンロードします。

現在のリリース番号	展開タイプ	リリース 12.0.1a にアップグレードするアップグレードタイプ
11.5(3)	すべて	未サポート

現在のリリース番号	展開タイプ	リリース 12.0.1a にアップグレードするアップグレードタイプ
11.5(2)	Windows および Linux での SAN の展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip を使用したバックアップ • Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元
	OVA/ISO/SE での SAN 展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO.zip を使用したバックアップ • Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元
	OVA/ISO/SE での LAN ファブリックの展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO.zip を使用したバックアップ • Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元

現在のリリース番号	展開タイプ	リリース 12.0.1a にアップグレードするアップグレードタイプ
11.5(1)	Windows および Linux での SAN の展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip を使用したバックアップ • Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元
	OVA/ISO/SE での SAN 展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO.zip を使用したバックアップ • Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元
	OVA/ISO/SE での LAN ファブリックの展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO.zip を使用したバックアップ • Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元
	OVA/ISO でのメディア コントローラの展開	<ul style="list-style-type: none"> • DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO.zip を使用したバックアップ • Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI > [操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backup & Restore)] での復元

アップグレードのペルソナ互換性

適切なアップグレードツールを使用することで、次の表に示すように、新しく展開された Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ にペルソナの DCNM リリース 11.5 (1) またはリリース 11.5 (2) からバックアップされたデータを復元できます。

DCNM 11.5(x) からのバックアップ ¹	アップグレード後の NDFC 12.0.1a でのペルソナの有効化
OVA/ISO/SE での DCNM 11.5(x) LAN ファブリックの展開	ファブリック コントローラ + ファブリック ビルダー

DCNM 11.5(x) からのバックアップ ¹	アップグレード後の NDFC 12.0.1a でのペルソナの有効化
OVA/ISO/SE での DCNM 11.5(x) PMN の展開	ファブリック コントローラ + メディアの IP ファブリック (IPFM)
OVA/ISO/SE での DCNM 11.5(x) SAN の展開	SAN コントローラ
Linux での DCNM 11.5(x) SAN の展開	SAN コントローラ
Windows での DCNM 11.5 (x) SAN の展開	SAN コントローラ

¹ 11.5(x) のすべての参照は、11.5(1) または 11.5(2) に対するものです。DCNM 11.5(3) から NDFC 12 へのアップグレードはサポートされていません。

アップグレード後の機能の互換性

次の表に、NDFC、リリース 12.0.1a へのアップグレード後に DCNM 11.5(x) バックアップから復元される機能に関連する警告を示します。

DCNM 11.5(x) の機能	アップグレードのサポート
設定済みのマルチサイトオーケストレーター	サポート対象外
Nexus Insights の設定	サポート対象外
設定されたプレビュー フィーチャー	サポート対象外
SAN インストールの LAN スイッチ	サポート対象外
IPv6 で検出されたスイッチ	サポート対象外
Container Orchestrator フィーチャー	サポート対象外
vCenter コンピューティング フィーチャー	サポート対象外
DCNM トラッカー	サポート対象外
SAN CLI テンプレート	11.5(x) から 12.0.1a に引き継がれない
イメージ/イメージ管理データの切り替え	11.5(x) から 12.0.1a に引き継がれない
スロドレイン データ	11.5(x) から 12.0.1a に引き継がれない
Infoblox 設定	11.5(x) から 12.0.1a に引き継がれない
エンドポイント ロケーションの設定	リリース 12.0.1a へのアップグレード後に、エンドポイント ロケータ (EPL) を再設定する必要があります。ただし、履歴データは最大 500 MB まで保持されます。

DCNM 11.5(x) の機能	アップグレードのサポート
アラーム ポリシーの設定	11.5(x) から 12.0.1a に引き継がれない
パフォーマンス管理データ	アップグレード後、最大 90 日間の CPU/メモリ/インターフェイス統計情報が復元されます。

Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ アップグレード ツールのダウンロード

Cisco DCNM から Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ にアップグレードするアップグレード ツールをダウンロードするには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco DCNM リリース 11.5(x) セットアップの展開タイプを特定します。

手順

ステップ 1 次のサイトに移動します。 <http://software.cisco.com/download/>。

ダウンロード可能な Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ の最新リリースソフトウェアのリストが表示されます。

ステップ 2 最新のリリース リストで、リリース 12.0.1a を選択します。

ステップ 3 Cisco DCNM 11.5(x) の展開タイプに基づいて、**DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool** を見つけ、**[ダウンロード (Download)]** アイコンをクリックします。

次の表に、DCNM 11.5(x) 展開タイプと、ダウンロードする必要がある対応する Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ アップグレード ツールを示します。

表 1: 『DCNM 11.5(x) Deployment type and Upgrade Tool Compatibility Matrix』

DCNM 11.5(x) 展開タイプ	アップグレード ツール名
ISO/OVA	DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO
Linux	DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip
Windows	DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip

ステップ 4 **sysadmin** クレデンシャルを使用して、11.5(x) サーバに適切なアップグレード ツールを保存します。

アップグレード ツールを使用したバックアップ

DCNM 11.5 上のすべてのアプリケーションとデータのバックアップを取得するために **DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool** を実行するには、次の作業を実行します。

始める前に

- Cisco DCNM リリース 11.5(1) では、バックアップを実行する前に、各ファブリックを検証してください。[Cisco DCNM [Web UI]-[管理 (Administration)]-[クレデンシャル管理 (Credentials Management)]-[SANクレデンシャル (SAN Credentials)]]を選択します。各ファブリックを選択し、[検証 (Validate)] をクリックしてクレデンシャルを検証してからバックアップを作成します。
- 適切なアップグレードツールを DCNM 11.5(x) セットアップのサーバにコピーしたことを確認します。
- アップグレードツールの実行権限が有効になっていることを確認します。実行可能権限を有効にするために **chmod +x .** を使用します。

```
[root@dcnm]# chmod +x ./DCNM12UpgradeToolOVAISO
```

手順

ステップ 1 Cisco DCNM リリース 11.5(x) アプライアンス コンソールにログインします。

ステップ 2 次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

ステップ 3 su コマンドを使用して、/root/ ディレクトリにログオンします。

```
dcnm# su
Enter password: <<enter-password>>
[root@dcnm]#
```

ステップ 4 **./DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool** コマンドを使用してアップグレードツールを実行します。

OVA / ISO の場合 :

```
[root@dcnm]# ./DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO /* for OVA/ISO
```

Windows/Linux の場合 :

```
root@dcnm]# unzip DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip
[root@dcnm-rhel]# cd DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/
[root@dcnm-rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]# ls
DCNMBackup.bat DCNMBackup.sh jar
[root@rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]# ./DCNMBackup.sh /* Enter this
command for Linux appliance */
OR
```

```
[root@rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]# ./DCNMBackup.bat      /* Enter this
command for Windows appliance */
```

アップグレードツールはDCNM アプライアンスのデータを分析し、Cisco Nexusダッシュボードファブリックコントローラ Release 12.0.1aにアップグレードできるかどうかを判断します。

(注) このツールを使用して生成されたバックアップは、アップグレード後にデータを復元するために使用できます。

ステップ5 バックアップを続行するプロンプトで、**y** を押します。

```
*****
Welcome to DCNM-to-NDFC Upgrade Tool for OVA/ISO.
This tool will analyze this system and determine whether you can move to NDFC 12.0.1a
or not.
If upgrade to NDFC 12.0.1a is possible, this tool will create files to be used for
performing the upgrade.
NOTE: only backup files created by this tool can be used for upgrading, older backup
files created with 'appmgr backup'
CAN NOT be used for upgrading to NDFC 12.0.1a

Thank you!
*****

Continue? [y/n]: y

Collect operational data (e.g. PM, EPL)? [y/n]: y

Does this DCNM 11.5(1) have DCNM Tracker feature enabled on any switch on any fabric?
[y/n]: n
```

ステップ6 バックアップファイルに対する暗号キーを入力します。

(注) バックアップファイルを復元するときに、この暗号キーを指定する必要があります。暗号キーは安全な場所に保存してください。暗号キーを失うと、バックアップを復元できません。

```
Sensitive information will be encrypted using an encryption key.
This encryption key will have to be provided when restoring the backup file generated
by this tool.

Please enter the encryption key:      /* enter the encryption key for the backup file
*/
Enter it again for verification:     /* re-enter the encryption key for the backup file
*/

...
...
Creating backup file
Done.
Backup file: backup11_dcnm-172-23-87-224_20210928-093355.tar.gz      /* backup file
name*/
[root@dcnm]#
```

暗号化されたバックアップファイルが作成されます。

ステップ7 バックアップファイルを安全な場所にコピーし、アプリケーション 11.5(x)DCNM アプライアンスをシャットダウンします。

例

DCNM バックアップ ツールを使用したバックアップの例

• DCNM 11.5(x) OVA/ISO アプライアンスでのバックアップの取得

```
[root@dcnm]# chmod +x DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO
[root@dcnm]# ./DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_OVA_ISO
*****

Welcome to DCNM-to-NDFC Upgrade Tool for OVA/ISO.

This tool will analyze this system and determine whether you can move to
NDFC 12.0.1a or not.

If upgrade to NDFC 12.0.1a is possible, this tool will create files
to be used for performing the upgrade.

NOTE:
only backup files created by this tool can be used for upgrading,
older backup files created with 'apmgr backup' CAN NOT be used
for upgrading to NDFC 12.0.1a

Thank you!

*****

Continue? [y/n]: y

Collect operational data (e.g. PM, EPL)? [y/n]: y

Does this DCNM 11.5(1) have DCNM Tracker feature enabled on any switch on any fabric?
[y/n]: n

Sensitive information will be encrypted using an encryption key.
This encryption key will have to be provided when restoring
the backup file generated by this tool.

Please enter the encryption key:      /* enter the encryption key for the backup
file */
Enter it again for verification:     /* re-enter the encryption key for the backup
file */

Adding backup header
Collecting DB table data
Collecting DB sequence data
Collecting stored credentials
Collecting Custom Templates
Collecting CC files
Collecting L4-7-service data
Collecting CVisualizer data
Collecting EPL data
Collecting PM data - WARNING: this will take a while!
Collecting AFW app info
Decrypting stored credentials
Creating backup file
Done.
Backup file: backup11_dcnm-172-23-87-224_20210913-012857.tar.gz      /* backup
file name*/
[root@dcnm]#
```

• DCNM 11.5(x) Windows/Linux アプライアンスでのバックアップの実行


```

[root@dcnm]# chmod +x DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN
[root@dcnm]# unzip DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip
Archive:  DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN.zip
  creating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/
  creating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/bcprov-jdk15on-1.68.jar
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/DCNMBackup.java
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/sequences.info.oracle
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/slf4j-simple-1.7.21.jar
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/jnm.jar
  inflating:
DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/not-going-to-be-commons-ssl-0.3.20.jar
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/tables.info.postgres
  inflating:
DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/jarchivelib-0.7.1-jar-with-dependencies.jar
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/tables.info.oracle
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/sequences.info.postgres
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/jar/log4j.properties
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/DCNMBackup.sh
  inflating: DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/DCNMBackup.bat

[root@dcnm-rhel]# cd DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN/
[root@dcnm-rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]# ls
DCNMBackup.bat  DCNMBackup.sh  jar
[root@rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]# ./DCNMBackup.sh          /* Enter this
command for Linux appliance */
OR
[root@rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]# ./DCNMBackup.bat       /* Enter this
command for Windows appliance */

Enter DCNM root directory [/usr/local/cisco/dcm]:

Initializing, please wait...

Note: ./jar/DCNMBackup.java uses unchecked or unsafe operations.
Note: Recompile with -Xlint:unchecked for details.
*****

Welcome to DCNM-to-NDFC Upgrade Tool for Linux/Windows.

This tool will analyze this system and determine whether you can move to NDFC 12.0.1a
or not.

If upgrade to NDFC 12.0.1a is possible, this tool will create files to be used for
performing the upgrade.

Thank you!

*****

This tool will backup config data. Exporting Operational data like Performance(PM)
might take some time.

Do you want to export operational data also? [y/N]: y
*****

Sensitive information will be encrypted using an encryption key.
This encryption key will have to be provided when restoring the backup file generated
by this tool.

Please enter the encryption key:          /* enter the encryption key for the backup
file */
Enter it again for verification:        /* re-enter the encryption key for the backup
file */

```

```

2021-09-13 14:36:31 INFO DCNMBBackup:223 - Inside init() method
2021-09-13 14:36:31 INFO DCNMBBackup:245 - Loading properties....
2021-09-13 14:36:31 INFO DCNMBBackup:301 - Inside checkLANSwitches...
2021-09-13 14:36:32 INFO DCNMBBackup:315 - LAN Switch count: 0
2021-09-13 14:36:32 INFO DCNMBBackup:342 - Inside exportDBTables...
2021-09-13 14:36:32 INFO DCNMBBackup:358 - Exporting -----> statistics
2021-09-13 14:36:32 INFO DCNMBBackup:358 - Exporting -----> sequence
...
...
2021-09-13 14:49:48 INFO DCNMBBackup:1760 - ##### Total time to export Hourly data:
42 seconds.

2021-09-13 14:49:48 INFO DCNMBBackup:1767 - Exporting SanPort Daily entries.
2021-09-13 14:49:48 INFO DCNMBBackup:1768 - Total number of ports: 455
2021-09-13 14:49:48 INFO DCNMBBackup:1769 - This might take a while, please wait...
2021-09-13 14:50:23 INFO DCNMBBackup:1791 - Total number of Json data entries in
backup/es/pmdb_sanportratedata_daily.data ==> 13751
2021-09-13 14:50:23 INFO DCNMBBackup:1795 - ##### Total time to export Daily data:
34 seconds.

2021-09-13 14:50:23 INFO DCNMBBackup:1535 - ##### Total time to export PM data: 81
seconds.

2021-09-13 14:50:23 INFO DCNMBBackup:879 - Creating final tar.gz file....
2021-09-13 14:50:30 INFO DCNMBBackup:892 - Final tar.gz elapsed time: 7049 in ms
2021-09-13 14:50:30 INFO DCNMBBackup:893 - Backup done.
2021-09-13 14:50:30 INFO DCNMBBackup:894 - Log file: backup.log
2021-09-13 14:50:30 INFO DCNMBBackup:895 - Backup file:
backup11_rhel177-160_20210913-149215.tar.gz /* backup file name*/
[root@rhel DCNM_To_NDFC_Upgrade_Tool_LIN_WIN]#

```

Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ のアップグレード

DCNM リリース 11.5(1) から Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ リリース 12.0.1a にアップグレードするには、次の手順を実行します。

ここにコンテキストを表示

始める前に

- 11.5(x) アプライアンスから作成されたバックアップ ファイルにアクセスできることを確認します。
暗号化キーがない場合、バックアップ ファイルから復元することはできません。
- Cisco Nexus Dashboard の必要なフォーム ファクタがインストールされていることを確認します。手順については、『[Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide](#)』を参照してください。

- Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ の新規インストールをインストールしたことを確認します。Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ のインストール手順については、次を参照してください。
 - [Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ サービスの手動インストール](#).
 - [App Store を使用した Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ サービスのインストール](#)

手順

ステップ 1 [Nexus Dashboard]>[Services] で、Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ カードを特定し、[開く (Open)] をクリックします。

Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI では、[フィーチャ管理 (Feature Management)] 画面が表示されます。

新しくインストールされた Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ でペルソナが選択されていないことに注意してください。

ステップ 2 [復元 (Restore)] をクリックします。

[オペレーション (Operations)]>[バックアップと復元 (Backup & Restore)] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [復元 (Restore)] をクリックします。

[今すぐ復元 (Restore now)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [種類 (Type)] で、復元する形式を選択します。

- 設定データのみを復元するには、[設定のみ (Config only)] を選択します。
- このアプリケーションに以前のバージョンのデータをすべて復元するには、[完全 (Full)] を選択します。

ステップ 5 バックアップ ファイルを保存した適切な宛先を選択します。

- ファイルがローカル ディレクトリに保存されている場合は、[ファイルのアップロード (Upload File)] を選択します。

1. バックアップ ファイルが保存されるディレクトリ
2. バックアップ ファイルを [今すぐ復元 (Restore now)] ウィンドウにドラッグアンドドロップします。

または

[参照 (Browse)] をクリックします。バックアップファイルが保存されるディレクトリに移動します。バックアップファイルを選択して、[開く (Open)] をクリックします。

3. バックアップ ファイルに対する**暗号キー**を入力します。
- バックアップ ファイルがリモート ディレクトリに保存されている場合は、**[SCP からインポート (Import from SCP)]** を選択します。
 1. **[SCP サーバ (SCP Server)]** フィールドに、SCP サーバの IP アドレスを入力します。
 2. **[ファイルパス (File Path)]** フィールドに、バックアップ ファイルへの相対ファイルパスを入力します。
 3. **ユーザ名とパスワード**を該当するフィールドに入力します。
 4. **[暗号キー (Encryption Key)]** フィールドにバックアップ ファイルに対する暗号キーを入力します。

ステップ 6 [復元 (Restore)] をクリックします。

進行状況バーが表示され、完了したパーセンテージ、操作の説明が表示されます。アップグレードの進行中は、Web UI がロックされます。復元が完了すると、バックアップ ファイルが**[バックアップと復元 (Backup & Restore)]** 画面のテーブルに表示されます。復元に必要な時間は、バックアップ ファイルのデータによって異なります。

(注) Cisco Nexus ダッシュボードで IP プールアドレスを割り当てていない場合は、エラーが表示されます。詳細については、『*Cisco Nexus Dashboard User Guide*』の「[Cluster Configuration](#)」の項を参照してください。

正常に復元されると、次のような通知バナーが表示されます。

Reload the page to see latest changes.

[ページの再ロード (Reload the page)] をクリックするか、ブラウザ ページを更新して復元を完了し、Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Web UIの使用を開始します。

Feature Manager

展開のタイプに基づいてバックアップを復元した後、リリースは次のいずれかのパーソナリティで展開されます。Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ 12.0.1a

- ファブリック コントローラ
- SAN コントローラ

Feature Management のステータスが**[開始中 (Starting)]** に変わります。また、有効にするフィーチャを選択できます。**[フィーチャ (Feature)]** チェックボックスと**[保存して続行 (Save & Continue)]** をクリックします。

DCNM 11.5(x) バージョンからデータをインポートした新しいCisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ Release 12.0.1a は、Web UI で使用できます。



- (注) NDFC リリース 12.0.1a へのアップグレードに関して、DCNM 11.5(x) で有効になっているフィッチャに関連する警告があります。詳細については、[アップグレード後の機能の互換性 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

機能セット全体での変更

Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ 12 では、ある機能セットから別の機能セットに切り替えることができます。[設定 (Settings)] > [機能管理 (Feature Management)] を選択します。次の表で、目的の機能セットとアプリケーションを選択します。[保存して続行 (Save and Continue)] をクリックします。ブラウザを更新して、新しい機能セットとアプリケーションで Cisco Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ の使用を開始します。

特定の導入でサポートされる機能/アプリケーションがいくつかあります。機能セットを変更すると、これらの機能の一部は新しい展開でサポートされません。次の表に、機能セットを変更できる前提条件と基準の詳細を示します。

表 2: 展開間でサポートされるスイッチング

送信元/宛先	ファブリック検出	ファブリック コントローラ	SAN コントローラ
ファブリック検出	-	ファブリック検出の展開では、モニタモードファブリックのみがサポートされます。機能セットを変更すると、ファブリック コントローラ導入でファブリックを使用できません。	サポート対象外
ファブリック コントローラ	ファブリックセットを変更する前に、既存のファブリックを削除する必要があります。	Easy Fabric から IPFM ファブリック アプリケーションに変更する場合は、既存のファブリックを削除する必要があります。	サポート対象外
SAN コントローラ	サポート対象外	サポート対象外	-

アップグレード後の作業

次の項では、Cisco NDFC、リリース 12.0.1a へのアップグレード後に実行する必要があるタスクについて説明します。

SAN コントローラのアップグレード後のタスク

バックアップからデータを復元すると、すべての server-smart ライセンスが **OutofCompliance** になります。

ポリシーを使用してスマートライセンスに移行するには、Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ を起動します。Web UI で、**[Operations]**、**[License Management]**、**[Smart]** タブ の順に選択します。SLP を使用して CCSM との信頼を確立します。手順については、『Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Configuration Guides』の「License Management」の章を参照してください。

ファブリック コントローラのアップグレード後のタスク

DCNM 11.5(x) から Cisco NDFC 12.0.1a にアップグレードする場合、次の機能は引き継がれません。

- エンドポイント ロケータを再設定する必要があります
- IPAM 統合を再設定する必要があります
- アラーム ポリシーを再設定する必要があります
- カスタム トポロジを再作成して保存する必要があります
- ファブリックで PM 収集を再度有効にする必要があります
- スイッチ イメージをアップロードする必要があります

Nexus ダッシュボードでのトラップ IP の管理 Nexusダッシュボード ファブリック コントローラ

リリース 11.5(x) の展開タイプ	11.5(x)では、トラップ IP アドレスは	LAN デバイス 管理の接続性	12.0.1a では、トラップ IP アドレスはに属します	結果
LAN ファブリック メディア コント ローラ	eth1（またはHA シス テムの場合は vip1）	管理	管理サブネットに 属する	[Honored] ²

リリース 11.5(x) の展開タイプ	11.5(x) では、トラップ IP アドレスは	LAN デバイス 管理の接続性	12.0.1a では、トラップ IP アドレスはに属します	結果
LAN ファブリック メディア コント ローラ	eth0 (または HA シス テムの場合は vip0)	管理	管理サブネットに 属していない	無視されます。管 理プールの別の IP がトラップ IP として使用されま す
LAN ファブリック メディア コント ローラ	eth0 (または HA シス テムの場合は vip0)	データ	データ サブネッ トに属する	Honored
LAN ファブリック メディア コント ローラ	eth0 (または HA シス テムの場合は vip0)	データ	データ サブネッ トに属していない	無視されます。 データ プールの 別の IP がトラップ IP として使用さ れます
SAN 管理	OVA/ISO – • trap.registaddress (設定されてい る場合) • eth0 (trap.registaddress が設定されてい ない場合) Windows/Linux – • trap.registaddress (設定されてい る場合) • イベント-マネー ジャ アルゴリズ ムに基づくイン ターフェイス (trap.registaddress が設定されてい ない場合)	N/A	データ サブネッ トに属する	Honored
		N/A	データ サブネッ トに属していない	無視されます。 データ プールの 別の IP がトラップ IP として使用さ れます

² 設定に違いはありません。対応不要です。

* **Honored** : 設定に違いはありません。対応不要です。

****Ignored** : 設定の違いが作成されます。 **Web UI**の[LAN]-[Fabrics]-[Fabrics] で、[Fabric]をダブルクリックして[**Fabric Overview**]を表示します。[**ファブリック アクション (Fabrics Actions)**] ドロップダウンリストから、[**設定の再計算 (Recalculate Config)**] を選択します。[**設定の展開 (Deploy Config)**] をクリックします。

ファブリック、インターフェイス、およびリンクのテンプレートの変更

Nexusダッシュボードファブリック コントローラリリース 12.0.1a では、次のファブリック、インターフェイス、およびリンクテンプレート名が変更され、_11_1 文字列が削除されています。

ファブリック テンプレート:

- Easy_Fabric.template
- External_Fabric.template
- MSD_Fabric.template

インターフェイス ポリシー テンプレート :

- int_access_host.template
- int_dot1q_トンネル_ホスト。テンプレート
- int_routed_host.template
- int_trunk_host.template
- int_intra_fabric_num_link.template
- int_intra_fabric_unnum_link.template
- int_intra_vpc_peer_keep_alive_link.template
- int_loopback.template
- int_mgmt.template
- int_monitor_ethernet.template
- int_monitor_port_channel.template
- int_nve.template
- int_port_channel_aa_fex.template
- int_port_channel_fex.template
- int_port_channel_access_host.template
- int_port_channel_dot1q_tunnel_host.template
- int_port_channel_trunk_host.template
- int_subif.template
- int_vpc_access_host.template
- int_vpc_dot1q_tunnel.template

- int_vpc_trunk_host.template
- int_vpc_peer_link_po.template

リンク IFC テンプレート:

- ext_fabric_setup.template
- ext_multisite_underlay_setup.template

設定コンプライアンスの変更

Configuration Compliance (CC) 関連のファイルも次のように変更されます。

- 設定コンプライアンスは **内部** NDFC テンプレートになりました。
- DCNM 11.5(x) のパス n ファイルシステム

/usr/local/cisco/dcm/dcnm/model-config

表 3: DCNM 11.5 から NDFC テンプレート名へのマッピング

DCNM 11.5(x) のテンプレート名	NDFC 12.0.1a のテンプレート名 詳細については、『 ³ 』を参照してください。
compliance_case_insensitive_clis	compliance_case_insensitive_clis
ipv6_clis	compliance_ipv6_clis
strict_cc_exclude_clis	compliance_strict_cc_exclude_clis

³ Cisco NDFC Fabric Controller Configuration Guide

